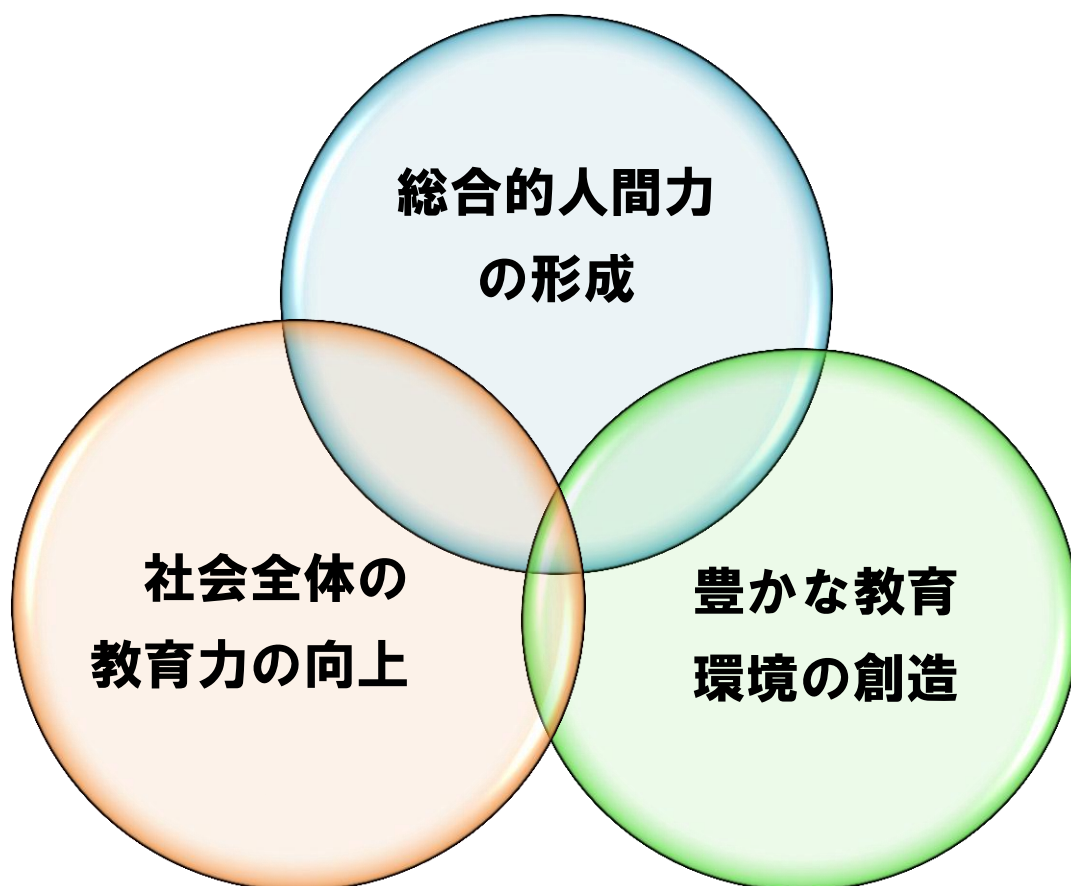


平成 27 年度  
(2015 年度)

# 重点項目 (施策)



吹田市教育委員会

## 平成 27 年度 重点項目（施策）

吹田市教育委員会は、本市の教育振興基本計画である「わが都市<sup>まろ</sup>すいたの教育ビジョン」を平成 22 年度（2010 年度）から平成 31 年度（2019 年度）までの 10 年間で計画期間とし、計画期間全体を通じめざす教育理念と基本目標を掲げるとともに、実現させるために取り組む教育施策の方向性を基本計画に示しています。中間年度となる平成 27 年（2015 年）に、基本理念と 3 つの基本目標は堅持しつつ、これまでの取組を検証し、成果と課題を明らかにしたうえで、課題の解消を図り、また教育を取り巻く様々な環境の変化やニーズに即した内容となるよう、基本計画の見直しを行いました。

この教育ビジョンの実現に向け、平成 27 年度は次の 12 の項目（施策）について重点的に取り組めます。

1. 子育て支援の推進
2. 認定こども園化の推進
3. 小中一貫教育の推進
4. 確かな学力の育成
5. 今日の課題に対応した教育の推進
6. 生涯学習プログラムの充実
7. スポーツイベント・プログラムの充実
8. 青少年相談の充実
9. 学校・園施設の整備
10. 安心・安全の確保
11. 教育資料の提供と教職員研修の充実
12. 生涯学習施設の整備・充実

この平成 27 年度の「重点項目（施策）」は平成 27 年度終了後に、教育委員会自らが取組の検証を行い、その成果と課題について、「平成 27 年度 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」において市民へ説明するとともに、教育行政の情報提供を積極的に行ってまいります。



# 「教育ビジョン」体系図

## 基本構想

## 基本計画

教育理念

今吹田から未来の力を

生命かがやきともにつながり未来を拓く吹田の教育

総合的人間力の形成

学びを高め、  
健やかな心と  
体を育む教育

基本目標 1

社会全体の  
教育力の向上

支えあい、  
地域とともに歩む  
教育

基本目標 2

豊かな  
教育環境の創造

豊かな学びを  
支援する  
教育環境

基本目標 3

基本方向1 幼児教育を充実し総合的人間力の基礎を培います

- 施策1 人とかかわる力を育む教育の充実
- 施策2 小学校との円滑な接続を重視した教育内容の充実
- 施策3 子育て支援の推進
- 施策4 認定こども園化の推進

基本方向2 小中一貫教育を通して総合的人間力を育成します

- 施策5 小中一貫教育の推進
- 施策6 確かな学力の育成
- 施策7 心の教育の充実
- 施策8 健康・体力づくりの推進
- 施策9 今日の課題に対応した教育の推進
- 施策10 生徒指導の充実
- 施策11 教育相談の充実
- 施策12 進路指導の充実
- 施策13 特別支援教育の充実

基本方向3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます

- 施策14 生涯学習推進体制の整備
- 施策15 生涯学習プログラムの充実
- 施策16 生涯学習情報の提供
- 施策17 地域スポーツの振興
- 施策18 スポーツイベント・プログラムの充実
- 施策19 健康づくり事業の推進と高齢者・障がい者スポーツの振興
- 施策20 スポーツ情報の提供

基本方向4 豊かな社会の実現に向けた人権教育を進めます

- 施策21 人権教育の推進
- 施策22 人権啓発の推進

基本方向5 地域の風がゆきかう学校・園づくりを進めます

- 施策23 地域や保護者との連携による教育の推進
- 施策24 地域や保護者に信頼される開かれた学校・園づくり

基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

- 施策25 家庭教育の支援と青少年育成
- 施策26 青少年団体、青少年指導者の育成
- 施策27 青少年の仲間づくり・居場所づくりの推進
- 施策28 青少年施設の有効活用と相互連携
- 施策29 青少年が安心して安全に活動できる環境づくりの推進
- 施策30 青少年相談の充実
- 施策31 教育コミュニティづくりの推進
- 施策32 スポーツ団体の育成
- 施策33 スポーツ指導者の養成・活用

基本方向7 安心・安全で豊かな学校・園の教育環境を整備します

- 施策34 学校・園施設の整備
- 施策35 安心・安全の確保
- 施策36 情報教育環境の整備
- 施策37 就学（修学）の援助
- 施策38 過大校等の教育環境の整備
- 施策39 学校規模適正化の検討

基本方向8 信頼と責任のある学校・園づくりを進めます

- 施策40 学校・園運営体制の確立
- 施策41 教育資料の提供と教職員研修の充実
- 施策42 教職員の人事管理の適正化

基本方向9 生涯学習・生涯スポーツ環境の整備を進めます

- 施策43 生涯学習施設の整備・充実
- 施策44 スポーツ施設の整備

基本方向10 開かれた教育行政を進めます

- 施策45 教育情報の発信
- 施策46 教育施策の点検・評価
- 施策47 総合教育会議の開催

平成27年度(2015年度) 重点項目(施策)

1 子育て支援の推進

平成27年度(2015年度)から開始する子ども・子育て支援新制度の実施にあわせ、公立幼稚園での預かり保育事業を保育士又は幼稚園教諭の資格者を配置する一時預かり事業(幼稚園型)に移行させ、本年4月から、水曜日・長期休業中を除く平日の午後5時まで実施します。さらに、認定こども園化をめざし、就労しながら子育てしている保護者を支援するために、今年度後半からは6園程度で、一時預かり事業(幼稚園型)を長期休業中を含む月曜日から金曜日の週5日実施していきます。

教育 ビジョン	基本目標 1	総合的人間力の形成
	基本方向 1	幼児教育を充実し総合的人間力の基礎を培います
	施策 3	子育て支援の推進

施策を構成する事業

【事業名】一時預かり事業(幼稚園型)		【担当課】保育幼稚園課
事業概要  教育時間の終了後から午後5時まで、希望者を対象として園児を預かります。水曜日・長期休業中を除く週4日を原則として実施します。(利用料500円/1回)	指標	H31目標値  16園(全園)
	考え方  保護者の就労支援の観点から、長時間預かる体制を整備していく。	当初予算額  13,258 千円

【事業名】一時預かり事業(幼稚園型)		【担当課】保育幼稚園課
事業概要  教育時間の終了後から午後5時まで、希望者を対象として園児を預かります。長期休業中を含む月曜日から金曜日の週5日実施します。	指標	H31目標値  9園
	考え方  保護者の就労支援の観点及び保育所持機児解消を図るため、公立幼稚園の認定こども園化を視野に入れた体制を整備していく。	当初予算額  - 千円

2 認定こども園化の推進

子ども・子育て支援新制度に対応して、認定こども園への移行をすすめ、質の高い教育・保育を提供するため、古江台幼稚園と北千里保育園を一体化し、幼保連携型の認定こども園として整備をすすめていきます。平成27年度(2015年度)は、ハード面では実施設計を、ソフト面ではカリキュラムの検討を進めます。また、子ども・子育て支援事業計画に基づき、小規模保育事業後の3歳児の受け皿や、増加する発達障がいに対応するため、公立幼稚園を幼稚園型認定こども園としていくこともあわせて検討します。

教育 ビジョン	基本目標 1	総合的人間力の形成
	基本方向 1	幼児教育を充実し総合的人間力の基礎を培います
	施策 4	認定こども園化の推進

施策を構成する事業

【事業名】(仮称)北千里・古江台認定こども園整備事業		【担当課】保育幼稚園課
事業概要  北千里保育園と古江台幼稚園を一体化し、古江台幼稚園用地に新たな施設を整備し、幼保連携型認定こども園を設置する。	指標	H31目標値  1園
	考え方  幼保一体化による認定こども園(幼保連携型)を整備します。	当初予算額  123,547 千円

【事業名】認定こども園推進事業		【担当課】保育幼稚園課
事業概要  公立幼稚園の認定こども園化について、諸条件の整理や課題解決等の検討を行う。	指標	H31目標値  8園
	考え方  公立幼稚園単体での認定こども園化を目指す幼稚園。	当初予算額  - 千円

平成27年度(2015年度) 重点項目(施策)

3 小中一貫教育の推進

幼稚園・保育園と小学校とのつながりを円滑にするとともに、義務教育9年間を一体のものと捉え、学力向上や豊かな心の育成など、小・中学校が連携して子どもたちに「生きる力」を身につけさせる教育活動や子どもたちの育ちを支援します。また、各中学校ブロックが9年間のカリキュラム編成など小中合同研究をさらに進められるよう、小中一貫教育実施プランⅡに基づき、幼小中一貫教育カリキュラム例を作成し、小中一貫教育の取組のさらなる充実に努めます。

教育 ビジョン	基本目標 1 総合的人間力の形成
	基本方向 2 小中一貫教育を通して総合的人間力を育成します
	施策 5 小中一貫教育の推進

施策を構成する事業

【事業名】小中一貫教育推進事業		【担当課】指導課
事業概要  各中学校ブロックにおいて、義務教育9年間を一体のものと捉え、「めざす子ども像」を共有し、課題解決する能力育成に向けた授業づくり等の学習指導、生徒指導の充実及び教職員の指導力、学校運営力の向上を図ります。	指標  幼小中一貫教育カリキュラムを編成した中学校ブロック数	H31目標値  18ブロック
	考え方  小中一貫教育実施プランⅡに基づき、9年間の教育課程の編成等充実に努めていく。	当初予算額  1,380 千円

4 確かな学力の育成

全国学力・学習状況調査結果の分析により、これまでの教育施策の成果と課題を検証し、授業改善等の具体的方策を小・中学校に示すことで、「確かな学力」の育成を図ってまいります。また、放課後学習支援事業をはじめとする放課後の時間を活用した学力向上の取組を充実させることにより、児童・生徒の学習意欲や自学自習力のさらなる向上をめざします。

教育 ビジョン	基本目標 1 総合的人間力の形成
	基本方向 2 小中一貫教育を通して総合的人間力を育成します
	施策 6 確かな学力の育成

施策を構成する事業

【事業名】放課後学習支援事業		【担当課】指導課
事業概要  児童・生徒の学習意欲の向上や自学自習力の育成を図るための学習支援者を配置し、さらなる学力の向上をめざし実施する。	指標  「自分で計画を立てて勉強している」と答えた児童・生徒の割合が目標値80%を上回る学校数	H31目標値  54校
	考え方  学習意欲、家庭学習に関する項目ですべての学校で全国値を上回るよう、放課後学習を活用していく。	当初予算額  310 千円

平成27年度(2015年度) 重点項目(施策)

5 今日の課題に対応した教育の推進

わが国の歴史や文化、伝統に誇りを持つ子どもの育成を図るとともに、グローバル化が進む社会の中で活躍できる国際性豊かな子どもの育成や、中学校英語教育、小学校外国語活動の充実をめざして、英語を母語とする英語指導助手を各小・中学校に派遣します。小学校3・4年生においては、「すいたえいごkids」を開催し、自然に英語でコミュニケーションできる体験活動を実施します。さらに、小学校1年生から授業の中で英語に慣れ親しむ活動ができるよう、平成26年度(2014年度)までに実施の5校に加え、新たに11校を教育課程特例校に位置づけるとともに、平成29年度(2017年度)までに全ての小学校へ拡充します。

また、「読書センター」及び「学習・情報センター」として学校図書館を活用した教育を充実させるとともに、読書活動支援者の配置等、学校における読書活動推進体制づくりを進めます。

<b>教育 ビジョン</b>	基本目標 1	総合的人間力の形成
	基本方向 2	小中一貫教育を通して総合的人間力を育成します
	施策 9	今日の課題に対応した教育の推進

施策を構成する事業

【事業名】英語教育推進事業		【担当課】指導課
事業概要  英語教育の充実を図るとともに、国際理解教育を推進するため、様々な国の文化をもつ英語指導助手を中学校に配置する。また、小学校5・6年生に英語指導助手を配置し、英語に慣れ親しむことや積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成をねらいとした外国語活動を行う。	指標  「英語を使って話せることが増えた」等の肯定的回答	H31目標値  100%
	考え方  児童生徒対象の調査結果における肯定的評価による。	当初予算額  53,565 千円
【事業名】英語コミュニケーション体験事業		【担当課】指導課
事業概要  英語だけの世界を楽しみながら、必然的に英語に触れ、英語でコミュニケーションを図る体験活動を行うことで、英語でのコミュニケーションに対する意欲の向上を図る。	指標  調査結果における肯定的回答	H31目標値  100%
	考え方  参加児童等の調査結果における肯定的評価による。	当初予算額  739 千円
【事業名】読書活動支援者配置事業		【担当課】教職員課
事業概要  小・中学校に読書活動支援者を配置し、学校図書館の充実を図るとともに、児童・生徒の豊かで幅広い読書活動を推進する。	指標  図書貸し出し冊数	H31目標値  2倍
	考え方  図書貸し出し冊数の増加。	当初予算額  14,512 千円

平成27年度(2015年度) 重点項目(施策)

6 生涯学習プログラムの充実

平成18年(2006年)3月に策定した「第2次生涯学習推進計画」について、社会情勢の変化や、人々のニーズが多様化してきたことなど、さまざまな課題に対応した計画となるよう見直しを行います。生涯学習講座については、生涯学習吹田市民大学特別講座や、子育て教室を新たに地区公民館と共催で行うなど、より地域に密着して、市民の生涯学習活動を支援できるよう、講座の更なる充実に努めます。また、地区公民館、図書館、博物館などの社会教育施設においては、それぞれの施設の特性や人材を活かしつつ、施設間、職員同士が、これまで以上に連携することで、市民が気軽に生涯学習に取り組んだり、気軽に体を動かしたりする取組を進めます。

さらに、さまざまな分野で活躍する方々と触れ合う場を設定することにより、子どもたちが将来に向けて夢や希望を持ち、自らの生き方を考える機会を提供します。

教育 ビジョン	基本目標 1	総合的人間力の形成
	基本方向 3	人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます
	施策 15	生涯学習プログラムの充実

施策を構成する事業

【事業名】生涯学習吹田市民大学事業		【担当課】生涯学習課
事業概要 第2次生涯学習推進計画に基づき、生涯学習吹田市民大学講座の実施を通じて市民の生涯学習活動を支援します。	指標	H31目標値 450人
	考え方 特別講座を地区公民館において3館実施するものとし、5回連続講座を30名が受講した際の受講者数。	当初予算額 2,285 千円
【事業名】地区公民館事業		【担当課】生涯学習課
事業概要 趣味や教養、現代的課題に即した講座を通じて地域住民の学習活動を支援します。	指標	H31目標値 59,113人
	考え方 年間開館日数のうち、3日に1度開催するとして、29館に、1講座定員の20人を乗じた数を基準として1%ずつ増加。	当初予算額 15,849 千円
【事業名】夢と希望を広げる出会い事業		【担当課】生涯学習課
事業概要 児童・生徒等が、優れた能力やキャリアを有し、様々な分野で活躍する方々と出会う場を設け、講演や実技指導を通じて、夢や目標を持って努力することの大切さを学び、将来の生き方を考える機会を提供します。	指標	H31目標値 5回
	考え方 小・中学校の授業において年間3回実施をし、地域教育協議会において2回実施をすることを目標とした場合の実施回数。	当初予算額 150 千円
【事業名】図書館主催行事事業		【担当課】中央図書館
事業概要 市民の読書活動を支援し、生涯学習の幅を広げるために講座を企画実施しています。加えて子どもたちの読書の振興と図書館の利用の増加を図るため、人形劇や子ども向け講演会などを実施します。	指標	H31目標値 のべ26,000人
	考え方 生涯学習の幅を広げ子どもたちの読書の振興と図書館利用の増加を目指す。毎年各館10人ずつ参加者を増やす。	当初予算額 871 千円
【事業名】障がい者へのサービス事業		【担当課】中央図書館
事業概要 図書館の障がい者サービスに携わる各種ボランティアを養成し、その協力を得ながら、録音図書と点字図書を製作し、それらを障がい者へ貸出します。また、対面朗読(音訳ボランティアが利用者と向かい合って、利用者の読みたい資料を朗読する)サービスも実施します。すでに活動しているボランティアのスキルアップにも取り組みます。	指標	H31目標値 3,800タイトル
	考え方 前年の所蔵タイトル数+100タイトル。	当初予算額 2,145 千円
【事業名】和の学校伝統文化こども(親子)教室事業		【担当課】文化財保護課
事業概要 次世代を担う子どもたちに、我が国の伝統文化を継承し、発展させるとともに、子どもたちが歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する態度と人間性を育てるため、茶道や正月の注連縄作りなど各種教室を開催します。	指標	H31目標値 229人
	考え方 文化財施設内での事業のため、文化財保護の観点から参加人数の増大を目標値として設定することは困難であり、各種教室の過去5年間の平均参加人数を目標値とする。	当初予算額 265 千円

平成27年度(2015年度) 重点項目(施策)

7 スポーツイベント・プログラムの充実

スポーツによる健康増進を進めるため、成人の週1回のスポーツ実施率50%を目標とし、平成27年度(2015年度)は、運動に親しみのなかった方へのアプローチとして、地区公民館など身近な施設において、スポーツ推進室職員の運動に関する専門的な知識や技術を活用し、運動を取り入れた健康講座を実施します。特に、公民館においては全館での実施を目指し、新たな運動実施者を増やします。  
また、運動好きの子どもを増やすための「運動あそびプログラム」を、日々の保育や家庭生活の中でも実践してもらえよう、教員・保育士への研修の充実や保護者への意識づけを行うことにより、心身ともに健康な子どもの育成を支援し、将来のスポーツ活動への基盤づくりを行います。

教育 ビジョン	基本目標 1	総合的人間力の形成
	基本方向 3	人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます
	施策 18	スポーツイベント・プログラムの充実

施策を構成する事業

【事業名】生涯スポーツ指導事業		【担当課】スポーツ推進室
事業概要  公的な団体や社会教育関係団体が行うスポーツ事業、地域住民の健康増進を目的とした事業、保健センター等の他部局が実施する健康づくり事業などに運動指導に関する専門的な知識・経験を持ったスポーツ推進室職員を派遣し、運動に関する講義や実技指導を行い、生涯スポーツの推進を図ります。	指標	H31目標値
	派遣依頼件数	240件
事業概要	考え方	当初予算額
	派遣依頼件数の10%増を目標。	133 千円
【事業名】運動あそびプログラム推進事業		【担当課】スポーツ推進室
事業概要  運動指導に関する専門的な知識・経験を持ったスポーツ推進室職員が市立の幼稚園(16園)・保育園(18園)を巡回訪問し、園児への指導や職員の研修を行い「運動あそびプログラム」を普及することでしなやかに動ける身体づくりを目指し、運動好きの子どもを増やすことで心身ともに健康な子どもの育成を支援します。	指標	H31目標値
	運動あそびプログラム実施園数	34園
事業概要	考え方	当初予算額
	運動あそびプログラムを継続的に全園で実施する。	0 千円
【事業名】スポーツ大会・教室等実施事業		【担当課】スポーツ推進室
事業概要  市民が誰でも参加できる身近なスポーツ大会である市長杯(旗)体育大会や各種競技スポーツ教室を実施するとともに、対外試合へ選手を派遣します。	指標	H31目標値
	市長杯大会及び1日教室の実施回数	90回
事業概要	考え方	当初予算額
	各種競技者の大会や教室への参加機会を維持。	29,004 千円

8 青少年相談の充実

ひきこもり、ニート、不登校など、さまざまな課題を抱え、社会とのつながりが希薄になった青少年やその家族が孤立することなく、いつでも相談できる総合的な窓口として体制を充実させてきたところですが、これらの問題については、特に早期の段階で状態を把握し、適切な機関等が適切な支援を開始していくことが、状態を長期化させないうえで最も重要であることから、教育、福祉、医療、労働などの関係機関等で構成される「社会的ひきこもり」吹田市ネットワーク会議の連携をさらに強化し、セーフティネットの拡大に努めます。

教育 ビジョン	基本目標 2	社会全体の教育力の向上
	基本方向 6	地域全体で教育力の向上を図ります
	施策 30	青少年相談の充実

施策を構成する事業

【事業名】青少年活動サポートブラザ青少年相談事業		【担当課】青少年活動サポートブラザ
事業概要  臨床心理士などの資格を有した専門相談員がひきこもりやニート、不登校、いじめなど様々な理由で社会との関係が希薄になった青少年とその家族に対し、相談をはじめとした支援事業を実施します。	指標	H31目標値
	—	—
事業概要	考え方	当初予算額
	関係機関等が連携し一人ひとりの課題解決に丁寧に取り組むことが大切で、指標で目標値を設定することは困難。	32,485 千円



平成27年度(2015年度) 重点項目(施策)

9 学校・園施設の整備

学校・園施設は、子どもたちの学習の場であり、学校においては非常災害時に住民の避難場所としての役割も果たすことから、「市有建築物の耐震化計画」に沿って耐震化を推進するため、小学校11校(幼稚園1園)・中学校9校の耐震補強工事を実施し、平成27年度(2015年度)末までに100%完了します。  
また、教育環境の充実のため、小学校の普通教室及び幼稚園の保育室の空調設備につきましては、平成28年度(2016年度)整備完了を目標とし、平成27年度(2015年度)は小学校9校・幼稚園3園の整備を予定しています。

教育 ビジョン	基本目標 3	豊かな教育環境の創造
	基本方向 7	安心・安全で豊かな学校・園の教育環境を整備します
	施策 34	学校・園施設の整備

施策を構成する事業

【事業名】小・中学校校舎耐震補強事業		【担当課】学校管理室
事業概要 小(併設幼稚園含む)・中学校校舎の耐震補強を実施します。	指標	H31目標値
	耐震基準を満たす校舎の率	100%
	考え方	当初予算額
	H27年度末に、耐震化率100%を達成する。	2,358,963 千円

【事業名】小・中学校及び幼稚園の空調設備整備事業		【担当課】保健給食室・学校管理室
事業概要 幼児・児童・生徒の教育環境を充実するため、空調設備を整備します。	指標	H31目標値
	小・中学校、幼稚園の普通教室、保育室の空調設備設置率	100%
	考え方	当初予算額
	H28年度末までに、普通教室、保育室の空調設備を整備する。	625,656 千円

10 安心・安全の確保

市立小学校及び市立幼稚園の校門に警備員等の配置を行い、子どもたちの学校園生活の安全を確保します。市立小学校には学校課業日に警備員を、夏季・冬季・春季の休業期間中はシルバー人材センターによる受付員を配置し、市立幼稚園には、単独園2園には警備員を、小学校に併設している14園についてはシルバー人材センターによる受付員を配置します。  
今後とも人の目による抑止力が重要であるとの考えの下、事業の継続を図ります。

教育 ビジョン	基本目標 3	豊かな教育環境の創造
	基本方向 7	安心・安全で豊かな学校・園の教育環境を整備します
	施策 35	安心・安全の確保

施策を構成する事業

【事業名】小学校安全対策事業		【担当課】学校管理室
事業概要 小学校のより徹底した防犯体制の確立と子どもたちの安全確保を目的に警備員等を配置し、校門付近を常時監視することで、来校者の受付とチェックを行い、不審者の侵入防止・抑制を図るとともに、緊急時の迅速な連絡体制のとれる安全対策業務を実施します。	指標	H31目標値
	学校内への不審者侵入件数	0件
	考え方	当初予算額
	児童の学校内での安全を確保するため、引き続き警備員等を校門に配置する必要がある。	62,714 千円

【事業名】幼稚園安全対策事業		【担当課】学校管理室
事業概要 幼稚園のより徹底した防犯体制の確立と子どもたちの安全確保を目的に警備員等を配置し、園門付近を常時監視することで、来園者の受付とチェックを行い、不審者の侵入防止・抑制を図るとともに、緊急時の迅速な連絡体制のとれる安全対策業務を実施します。	指標	H31目標値
	幼稚園内への不審者侵入件数	0件
	考え方	当初予算額
	園児の幼稚園内での安全を確保するため、引き続き受付員等を園門に配置する必要がある。	12,170 千円

平成27年度(2015年度) 重点項目(施策)

11 教育資料の提供と教職員研修の充実

最新の教育情報や教育実践資料等を収集するとともに、教育の今日的課題や吹田市の重点施策について調査・研究を推進し、成果等を発信することで学校での教育実践に生かします。また、教職員研修については、さまざまな教育課題や教職員のライフステージ、ニーズに対応したもの等内容を一層充実させ、教職員の専門的知識・技能の習得、資質向上を図り、円滑な学校経営の推進を図ります。

教育 ビジョン	基本目標 3	豊かな教育環境の創造
	基本方向 8	信頼と責任のある学校・園づくりを進めます
	施策 41	教育資料の提供と教職員研修の充実

施策を構成する事業

【事業名】 教職員研修事業		【担当課】 教育センター
事業概要 管理職が学校をよりよく運営していくための学校組織・マネジメントについて学ぶ研修や、教職員が自己教育力を高め、指導力及び資質向上のためのキャリアステージに応じた研修や教育課題別の研修、教科・領域別の研修、特別支援教育研修、専門職等研修、情報教育実技研修等を実施しています。	指標 教職員研修の延べ参加人数	H31目標値 6,000人
	考え方 教職員の自己研鑽意欲を高め、研修参加を促していく必要がある。	当初予算額 3,680 千円
【事業名】 校内研修事業		【担当課】 教育センター
事業概要 学校に講師を招いて研修を行うとともに、様々な専門の講習会・研修会に参加することで、教職員の自己教育力の高揚と指導力及び資質の向上を図っています。	指標 校内研修会参加人数	H31目標値 1,590人
	考え方 校内研修会を活性化し、特色を生かした学校づくりを支援していく必要がある。	当初予算額 1,567 千円
【事業名】 研究学校事業		【担当課】 教育センター
事業概要 今日的課題や重点項目にかかわる研究を学校に委嘱し、教員の資質や学校体制のあり方を改善するとともに、児童・生徒の学力向上を図っています。さらに、研究成果を校外に発信し市全体の教育力を高めています。	指標 委嘱研究校の公開授業回数	H31目標値 15回
	考え方 委嘱研究校における研究成果を発信し、全校が共有していく必要がある。	当初予算額 600 千円
【事業名】 教育課題調査・研究推進事業		【担当課】 教育センター
事業概要 学校園の教職員に研究員を委嘱し、教育に関する専門的、今日的課題等の調査・研究活動を行っています。また、調査・研究の成果を積極的に発信することで、各学校・園における教育実践力の向上と教育活動の充実・活性化を図っています。	指標 研究グループ活動回数	H31目標値 66回
	考え方 教育課題への調査・研究を行うため、教職員に対する活動を活性化し、支援していく必要がある。	当初予算額 2,389 千円
【事業名】 教育研究大会事業		【担当課】 教育センター
事業概要 すべての教職員が、今日的課題や本市の重点項目について学び、今後の教育活動に活かすための相互理解の場としています。	指標 アンケートの肯定的回答	H31目標値 100%
	考え方 参加者にとって学びが深まり充実感の高い研究大会を実施する必要がある。	当初予算額 255 千円

平成27年度(2015年度) 重点項目(施策)

12 生涯学習施設の整備・充実

公民館をはじめとする生涯学習施設の整備や充実を図ります。また、これらの生涯学習施設間の連携や協力を密にし、各施設が持つ機能や立地条件などを活かした生涯学習施設の体系化を図ります。  
平成27年度(2015年度)は、南吹田地区公民館の建替え移転の実施設計や、豊一地区公民館の大規模改修工事を実施します。今後についても、地区公民館改修(改築)計画に沿った整備・充実を図っていきます。

教育 ビジョン	基本目標 3	豊かな教育環境の創造
	基本方向 9	生涯学習・生涯スポーツ環境の整備を進めます
	施策 43	生涯学習施設の整備・充実

施策を構成する事業

【事業名】地区公民館の改修		【担当課】生涯学習課
事業概要  地区公民館の老朽化に伴い、年次的に大規模改修工事等を実施します。	指標  改修件数	H31目標値  —
	考え方  基本的に大規模改修については、1年間に1館が原則。	当初予算額  223,934 千円